



都市鉱山からつくる！
みんなのメダル☆
プロジェクト

**ご協力いただき
ありがとうございました！**

ここから始めよう、リサイクル社会の実現を

2019年3月31日 受付終了

東京2020大会でアスリートの胸に輝くメダルはすべて、みなさまから集められた携帯電話や小型家電から抽出した金属で作られることになりました！



ポイント1 メダルを全量リサイクル金属で製作することは、オリンピック・パラリンピック史上初の試みです。



ポイント2 小型家電の回収継続で、資源の有効活用をより重視する「持続可能な社会」をつくることができます。



ポイント3 日本国内の都市鉱山を、今後はメダルづくりだけでなく、いろいろなものに活かしていきます。

このマークは、小型家電の正式な回収ルートを示す目印です！

このマークは、国の認定を受けたリサイクル事業者、又は小型家電リサイクルに取り組む市区町村しか使用できません。マークのない事業者に渡すと環境破壊につながる危険があります。ルールを守って小型家電リサイクル回収にご協力ください。



小型家電

「都市鉱山」とは？

都市には鉱山がある！



「小型家電の回収率10%。大切な資源がゴミになっています。」

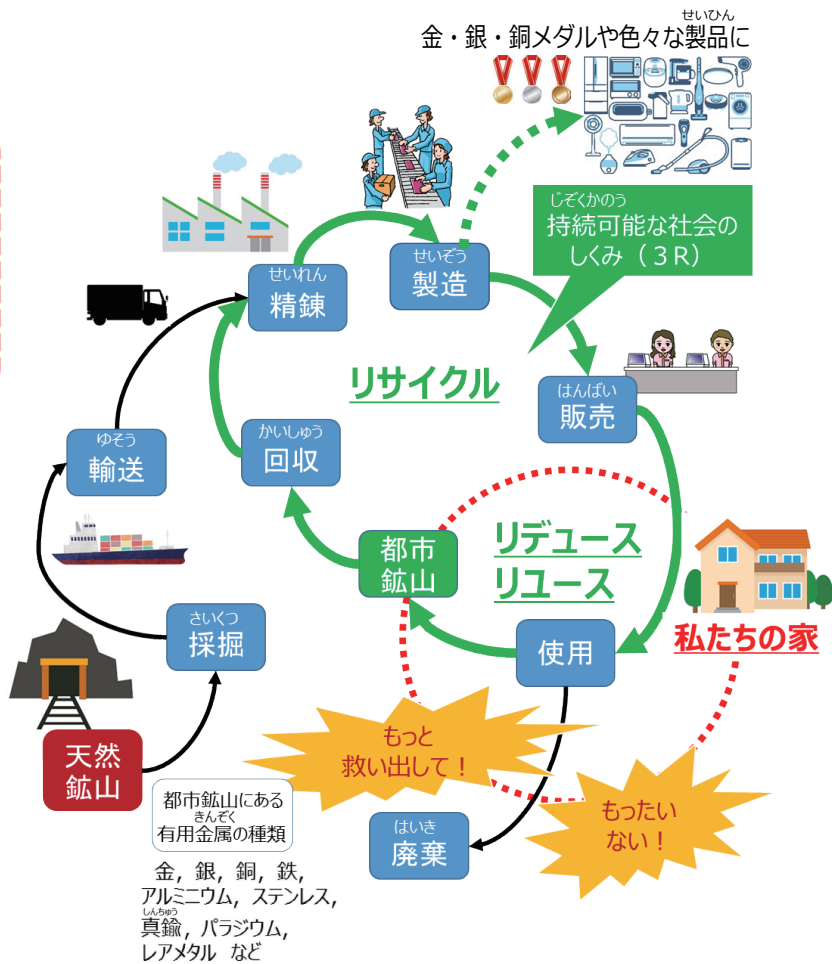
使われなくなった小型家電は、都市にある鉱山という意味で、「都市鉱山」とよばれています。

日本の都市鉱山には、世界の天然鉱山をしのぐ埋蔵量があるといわれています。

日本に集まってきた資源

金	6,800	銀	60,000
銅	38,000,000	プラチナ	2,500

金・銀・銅メダルや色々な製品に



「持続可能な社会」とは？

限りある資源やモノを大切に使い、地球の温暖化を抑え、地球の多様な生態系や自然環境を守りながら、経済的な豊かさを作り出すことを次の世代に引きついでいき、みんなが安心して暮らしていける社会です。

＜持続可能な社会をつくる3つの取り組み＞

3R
(リユース、リデュース、リサイクル)を実行する

二酸化炭素の排出を抑える

生物多様性を守る

使われなくなった小型家電の回収方法

ボックス回収

主に、携帯電話・デジタルカメラ等の小さなサイズの小型家電が対象の回収ボックスやもっと大きなものも入る回収ボックスなどがあります。自治体、または認定事業者が、公共施設（市役所等）や商業施設などにボックスを置いています。



回収ボックスの例

拠点回収

ほとんどの小型家電が対象です。自治体（クリーンセンター等）、または認定事業者が指定する場所への持ちこみとなります。

ピックアップ回収

自治体が分別区分にしたがってステーション（ごみ出し場所）ごとに回収した「不燃ごみ」や「粗大ごみ」の中から、小型家電を選別する方式です。

イベント回収

イベント主催者がイベント会場に特設した回収ボックスで行います。（投函口の大きさによって回収できるものが異なります）

宅配回収

自宅・職場等の指定場所から、希望日時に、宅配業者が回収します。

- ・回収品目、回収拠点は、自治体や認定事業者によって違いがあります。
- ⇒わしくは自治体へお問合せください。
- ⇒自治体ごとの回収方法をウェブで確認できます。

★小型家電リサイクル回収ポータルサイト
<http://kogatakaden.env.go.jp/>

